

平成25年行政事業レビューシート (文部科学省)

事業名	独立行政法人国立文化財機構施設整備に必要な経費		担当部局庁	文化庁		作成責任者		
事業開始・終了(予定)年度	平成13年度(統合年度:平成19年度)～終了年度未定		担当課室	長官官房政策課		政策課長 清水 明		
会計区分	一般会計		政策・施策名	XⅢ 文化による心豊かな社会の実現 XⅢ-2 文化財の保存及び活用の充実				
根拠法令 (具体的な条項も記載)	独立行政法人国立文化財機構法(平成11年法律第178号)第3条、第12条第1項		関係する計画、通知等	中期目標、中期計画、年度計画				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	博物館を設置して有形文化財を収集し、保管して公衆の観覧に供するとともに、文化財に関する調査及び研究等を行うことにより、貴重な国民的財産である文化財の保存及び活用を図ることを目的とする。							
事業概要 (5行程度以内。別添可)	独立行政法人国立文化財機構の設置する施設の整備充実を図るため、平成24年度は、以下の工事を実施。 「京都国立博物館平常展示館建替工事」【老朽化に伴う工事】【繰越しに係る事業】(6ヶ年計画6年目) 「奈良文化財研究所本庁舎建替工事」(5ヶ年計画1年目) 「東京国立博物館表慶館/バリアフリー化工事等」 「東京国立博物館黒田記念館耐震補強改修等」 「奈良国立博物館防災設備等改修」							
実施方法	<input type="checkbox"/> 直接実施 <input type="checkbox"/> 委託・請負 <input checked="" type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> 交付 <input type="checkbox"/> 貸付 <input type="checkbox"/> その他							
予算額・執行額 (単位:百万円)			22年度	23年度	24年度	25年度	26年度要求	
	予算の状況	当初予算	3,992	4,792	6,884	2,854	4,636	
		補正予算	-	-	2,038	-		
		繰越し等	1,198	▲ 424	1,222	6,317		
		計	5,190	4,368	10,144	9,171	4,636	
	執行額		5,094	4,368	10,144			
執行率(%)		98.1%	100.0%	100.0%				
成果目標及び成果実績 (アウトカム)	成果指標			単位	22年度	23年度	24年度	目標値 (年度)
	○施設整備 文化財の保存及び活用を図るために必要な施設・設備の更新・整備を計画的に実施する。		成果実績		海外からの資材の納期遅延等のため、一部工事について翌年度への繰越しが生じているが、概ね順調に進捗している。			
			達成度	%	100			
活動指標及び活動実績 (アウトプット)	活動指標			単位	22年度	23年度	24年度	25年度活動見込
	施設整備の整備件数		活動実績 (当初見込み)	件	6	1	5	—
					( )	( )	( )	( )
単位当たりコスト	契約に際しては、設計意図伝達などの特殊な場合を除き、一般競争により契約者を決定している。 さらに、契約監視委員会において、個々の契約の妥当性について、審議を行い、その議事概要をホームページで公表するなどして、透明性・競争性の確保を実施している。							
平成25・26年度予算内訳	費目	25年度当初予算	26年度要求	主な増減理由				
	独立行政法人国立文化財機構施設整備費補助金	2,854 百万円	4,636 百万円	「新しい日本のための優先課題推進枠」1,723百万円 「国立の美術館・博物館・劇場の機能強化に関する提言(平成25年5月17日:自民党文化伝統調査会)」において、施設設備の整備など、ナショナルセンターとしての役割の重要性が求められていることから、更なる機能強化に必要な経費を平成26年度に要求するため。				
	計	2,854 百万円	4,636 百万円					

事業所管部局による点検													
	項目	評価	評価に関する説明										
国費投入の必要性	広く国民のニーズがあるか。国費を投入しなければ事業目的が達成できないのか。	○	当事業は国立文化財機構法等に定められた、有形文化財の収集・保管、観覧、文化財に関する調査研究等を行うことにより、文化財の保存及び活用を図ることを目的としている。貴重な国民的財産である文化財の保存公開施設の建替工事については、文化財の適切な保存展示環境の整備及び国民サービスの充実の観点から、独立行政法人国立文化財機構が実施すべき優先度の高い事業である。										
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。	—											
	明確な政策目的(成果目標)の達成手段として位置付けられ、優先度の高い事業となっているか。	—											
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。	○	支出先の選定は、国立文化財機構会計規程等に則った適切な手続きにより行っており、選定の妥当性や競争性を確保するとともに単位あたりコストの削減に努めている。契約に際しては、一般競争により契約者を決定しており、契約監視委員会において、個々の契約の妥当性について、審議を行うなど、透明性・競争性が確保されている。										
	受益者との負担関係は妥当であるか。	○											
	単位当たりコストの水準は妥当か。	○											
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。	○											
	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	○											
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)	—											
事業の有効性	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	○	平常展示館建替後は、施設の十分な活用が期待できる。										
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	○											
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	○											
重複排除	類似の事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)	—	<table border="1"> <thead> <tr> <th>事業番号</th> <th>類似事業名</th> <th>所管府省・部局名</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>		事業番号	類似事業名	所管府省・部局名						
	事業番号	類似事業名			所管府省・部局名								
点検結果	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本建替工事は、海外からの資材の納期遅延等により、一部工事が翌年度へ繰越となっているが、施設整備が概ね順調に進捗していることは評価できる。</li> <li>・施設設備に関しては、利用者が安全・安心に鑑賞ができる環境の整備及び自然災害等への対応の観点からも、必要な施設設備の改善等を着実に進めている。</li> <li>・真にやむを得ないものを除き、一般競争入札等による競争性の確保を促進するとともに、契約に当たっては、競争参加条件等のより一層の見直しを図るなど引き続き仕様書の見直し、適切な公告期間の確保等による競争性、公平性、透明性の確保を図ることが求められる。</li> </ul>												
外部有識者の所見													
外部有識者による点検対象外													
行政事業レビュー推進チームの所見													
現状通り	<ol style="list-style-type: none"> <li>1. 事業評価の観点:この事業は、独立行政法人に対する施設整備費の補助事業であり、計画的な施設整備の実施の観点から検証を行った。</li> <li>2. 所見:必要な施設整備を計画的に実施しているものであり、平成24年度においては概ね計画通りに予算執行されたものと考えられる。今後も引き続き整備規模の適正化やコスト削減に留意しつつ、必要な機能強化を計画的に図るとともに効果的・効率的な整備実施に努めることとし、現在の事業内容を維持すべきである。</li> </ol>												
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況													
現状通り	-												
備考													
関連する過去のレビューシートの事業番号													
	平成22年	0484	平成23年	0406	平成24年	0429							

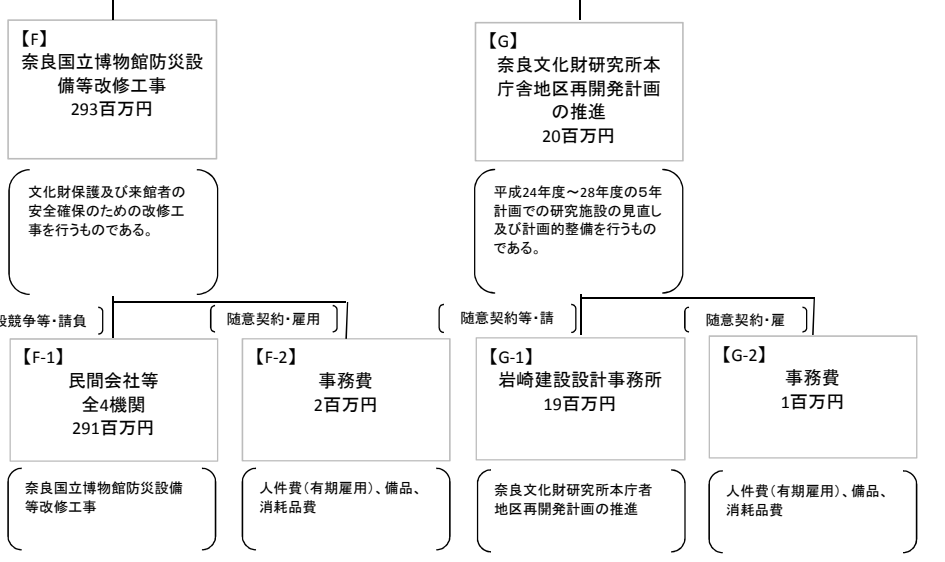
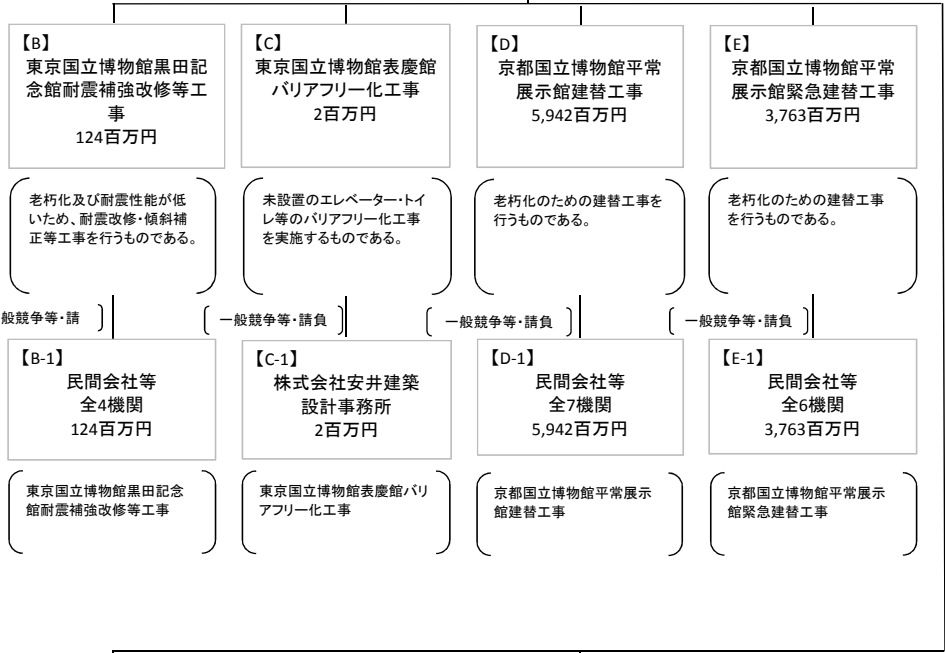
※平成24年度実績を記入。

文化庁  
施設整備費補助金10,144百万円

事業概要  
独立行政法人国立文化財機構の設置する建物及びその敷地の整備充実を図るため、国立文化財機構が行う施設の整備に要する経費に対して補助を行う。

↓  
〔補助〕

【A】独立行政法人国立文化財機構  
10,144百万円



資金の流れ  
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)  
(単位:百万円)

A.(独)国立文化財機構			E.京都国立博物館平常展示館緊急建替工事		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	施設・設備の整備に係る工事費、工事に係る設計料、工事監理費等	10,144	事業費	老朽化のための建替工事	3,763
計		10,144	計		3,763
B.東京国立博物館黒田記念館耐震補強改修等工事			F.奈良国立博物館防災設備等改修工事		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	耐震改修・傾斜補正等工事	124	事業費	文化財保護及び来館者の安全確保のための改修工事	293
計		124	計		293
C.東京国立博物館表慶館バリアフリー化工事			G.奈良文化財研究所本庁舎地区再開発計画の推進		
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	未設置のエレベーター・トイレ等のバリアフリー化工事	2	事業費	研究施設の見直し及び計画的整備	20
計		2	計		20
D.京都国立博物館平常展示館建替工事					
費目	使 途	金 額 (百万円)	費目	使 途	金 額 (百万円)
事業費	老朽化のための建替工事	5,942			
計		5,942	計		0

費目・使途  
 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)

費目・使途  
 (「資金の流れ」に  
 おいてブロックご  
 とに最大の金額  
 が支出されている  
 者について記載  
 する。費目と使途  
 の双方で実情が  
 分かるように記  
 載)

B-1.株式会社安井建築設計事務所			F-1.株式会社きんでん奈良支店		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事	黒田記念館耐震改修設計業務	76	工事	奈良国立博物館防災設備等改修電気設備 工事	185
計		76	計		185
C-1.株式会社安井建築設計事務所			F-2.個人A		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事	表慶館バリアフリー化工事設計・積算業務	2	人件費	事務	2
計		2	計		2
D-1.戸田建設株式会社			G-1.岩崎建設設計事務所		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事	平常展示館立替工事等	3,561	工事	本庁舎地区再開発設計	19
計		3,561	計		19
E-1.戸田建設株式会社			G-2.個人B		
費目	使途	金額 (百万円)	費目	使途	金額 (百万円)
工事	平常展示館立替工事	2,167	人件費	事務	1
計		2,167	計		1

## 支出先上位10者リスト

### B.東京国立博物館黒田記念館耐震補強改修等工事

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社安井建築設計事務所	黒田記念館耐震改修設計業務を行う。	76	随意契約	-
2	株式会社三冷社	黒田記念館改修機械設備工事を行う。	47	2	-
3	株式会社地盤調査事務所	黒田記念館耐震改修設計業務(地質調査)を行う。	1	随意契約	-
4	環境リサーチ株式会社	黒田記念館アスベスト調査を行う。	0.4	随意契約	-

### C.東京国立博物館表慶館バリアフリー化工事

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社安井建築設計事務所	表慶館バリアフリー化工事設計業務を行う。	1	随意契約	-
2	株式会社安井建築設計事務所	表慶館バリアフリー化工事積算業務を行う。	1	随意契約	-

### D.京都国立博物館平常展示館建替工事

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	戸田建設株式会社	平常展示館建替建築工事を行う。	3,556	8	-
2	一工・三晃特定建設工事共同企業体	平常展示館建替機械設備工事を行う。	1,355	1	-
3	栗原工業株式会社	平常展示館建替電気設備工事を行う。	714	1	-
4	株式会社日立製作所関西支社	平常展示館建替乗用エレベーター設置工事を行う。	152	1	-
5	ダイコー株式会社大阪支店	平常展示館建替荷物用エレベーター設置工事を行う。	126	1	-
6	株式会社梓設計	平常展示館新築工事監理業務を行う。	19	随意契約	-
7	株式会社谷口建築設計研究所	平常展示館設計業務を行う。	15	随意契約	-
8	戸田建設株式会社	平常展示館展示ケース整備工事を行う。	5	4	-

### E.京都国立博物館平常展示館緊急建替工事

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	戸田建設株式会社	平常展示館建替建築工事を行う。	2,167	8	-
2	一工・三晃特定建設工事共同企業体	平常展示館建替機械設備工事を行う。	978	1	-
3	栗原工業株式会社	平常展示館建替電気設備工事(H24.8.17契約分)を行う。	544	1	-
4	近畿地方整備局	工事に係る直接事務を行う。	56	随意契約	-
5	株式会社梓設計大阪支社	平常展示館新築第3期工事監理業務を行う。	10	随意契約	-
6	株式会社谷口建築設計研究所	平常展示館設計業務を行う。	8	随意契約	-

F.奈良国立博物館防災設備等改修工事

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	株式会社きんでん奈良支店	奈良国立博物館防災設備等改修電気設備工事を行う。	185	1	-
2	ダイダン株式会社天理支店	奈良国立博物館防災設備等改修機械設備工事を行う。	92	3	-
3	株式会社木下家具製作所	収蔵庫棚等移設作業を行う。	8	2	-
4	日本通運株式会社関西美術品支店	奈良国立博物館防災設備等改修工事にともなう収蔵品等移動作業を行う。	5	随意契約	-
5	個人A	事務を行う。	2	随意契約	-

G.奈良文化財研究所本庁舎地区再開発計画の推進

	支出先	業務概要	支出額 (百万円)	入札者数	落札率
1	岩崎建設設計事務所	本庁舎地区再開発設計を行う。	19	随意契約	-
2	個人B	事務を行う。	1	随意契約	-

※落札率については、同種の他の契約の予定価格を類推させる恐れがあるため非公表とする。

※支出額については、表示単位四捨五入の関係で、資金の流れ欄の金額とは一致しない。